

個別避難計画について

“迅速で安全な避難が大切な命を守ります”

避難に不安を感じている方は

個別避難計画

を作しましょう

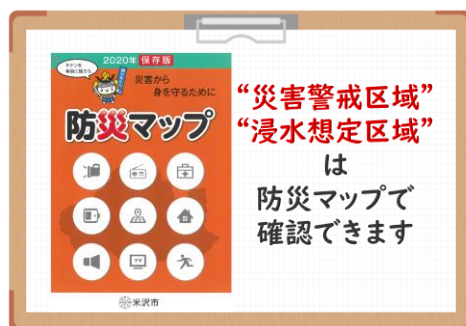


高齢者や障がい者など、自ら避難することが困難な「避難行動要支援者」は、あらかじめ避難先や避難支援者を決めておき、その情報を関係者で共有することにより、災害時の迅速で安全な避難を確保する必要があります。その計画を「個別避難計画」と言い、災害対策基本法で規定されています。

避難行動要支援者とは

- (1) 介護保険法における要介護3～5の認定者
- (2) 身体障害者手帳1級から2級所持者
- (3) 療育手帳A所持者
- (4) 精神障害者保健福祉手帳1級所持者
- (5) 障がい者総合支援法上のサービス給付を受けている難病患者、医療的ケア児・者
- (6) 75歳以上の高齢者のみの世帯（単身世帯含む）の者
- (7) 上記以外で避難支援を必要とする市長が認めた者

“災害警戒区域”や“浸水想定区域”にお住まいの方などは特に優先して作成するようにしましょう



POINT 1

避難支援者を決めておく

いざという時に避難を支援してくれる人を家族や地域の人など、日頃関わりのある人の中から2人以上決めておくことで安心です。

POINT 2

避難経路を設定する

災害の種類に応じて、自宅から避難先までの経路を設定しておきましょう。あらかじめ危険な場所などを把握することで安全な避難につながります。

POINT 3

関係者で共有する

作成した計画は、作成に関係した人で共有しましょう。また、本人の同意により、避難支援等関係者(※)への提供も行うことができます。

※避難支援等関係者

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 置賜広域行政事務組合消防本部 | ⑦ 町内会長及び担当者※ |
| ② 米沢市消防団 | ⑧ 米沢市社会福祉協議会 |
| ③ 米沢警察署 | ⑨ 地域包括支援センター |
| ④ 民生委員・児童委員 | ⑩ 福祉専門職 |
| ⑤ コミュニティセンター | ⑪ 福祉避難所協定施設 |
| ⑥ 自主防災組織の長及び担当者※ | (協定を締結している旅館ホテルを含む) |

※⑥⑦の担当者とは、当該組織において防災や福祉に係る役員及び担当者とする。